

そうけい、いま、つくってます！！



特集

ついに答申！ 総合計画審議会

総合計画審議会とは？

総合計画審議会とは、市長の諮問に応じて、総合計画に関する様々な事項を調査・審議するために設置される機関です。答申（とうしん）とは、審議の結果を意見として提出することを指します。

今回は、令和7年11月11日に実施した第6回総合計画審議会の様子をお伝えします。

パブリックコメントの結果が報告されました

令和7年9月14日から10月23日に実施されたパブリックコメント（9月号の内容も併せてご参照ください）の結果が審議会に報告されました。

意見募集にあたっては、若い人たちにも関心を持ってもらえるよう、SNS広告を活用するなど、目に触れる機会を高める取組を行いました。

最終的には、合計35人から102件のご意見をいただき、それぞれに対して意見の要旨と市の考え方を示しています（詳細は市ホームページに掲載しています）。

また、このパブリックコメントとは別に、子ども（小学生・中学生）向けの意見募集の結果についても報告がありました。子どもから意見を募集するにあたり、計画の趣旨や芦屋市の将来像を児童生徒にわかりやすく伝える工夫を行い、その結果、134件のご意見をいただきました。

▼各種SNSにて展開したバナー広告



1年2か月間続いた審議会も無事完結！

第1回総合計画審議会は令和6年9月に始まり、第6回までの1年2か月にわたり、芦屋市の将来像やまちづくりの方向性について、幅広い視点から審議してきました。

その締めくくりとして、林会長から高島市長に「答申書」が手渡されました。答申は意見を付す形で前期基本計画やこれまでの芦屋市の取組を踏まえつつ、後期基本計画で新たに示した「学び」「文化」「協働」の要素を大切に、市民、地域団体、事業者との間で共有、連携して実効性を高めていくことなどが記載されています。コンパクトにまとめられていますのでぜひご一読ください（市ホームページに掲載しています）。

総合計画審議会はこの第6回で終了となりますが、今後は3月の市議会に議案として提出し、審議を経て計画の策定を目指します。



現行の芦屋市総合計画はこちら
・第5次総合計画前期基本計画
（第2期創生総合戦略）



前回までのバックナンバーはこちら



▶次回もどうぞ期待